

 市場価格

ドル建て ドル/toz

Platinum	Price	Date
Open	906.21	2023/7/3
High	930.24	2023/7/4
Low	869.52	2023/7/6
Close	913.00	2023/7/7

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4203.00	2023/7/3
High	4318.00	2023/7/4
Low	4166.50	2023/7/6
Close	4170.00	2023/7/7

ドル建て ドル/toz

Palladium	Price	Date
Open	1227.38	2023/7/3
High	1275.00	2023/7/6
Low	1217.00	2023/7/3
Close	1244.00	2023/7/7

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	5718.00	2023/7/3
High	5907.00	2023/7/6
Low	5638.00	2023/7/7
Close	5700.00	2023/7/7

 ニュースエクスプレス

ノーザム・プラチナム、融資再構成で財務への圧迫を軽減

ノーザム・プラチナムは、5年間のリボルビング・クレジット・ファシリティーによって与信枠を28億5000万ランド増やして100億ランドとし、現在の借入金枠は110億ランドとなったと発表した。

既存の銀行借り入れ枠は合計10億ランド。

今回の新たな融資の発表の中で、以前の25億5000万ランドの借り入れは全額決済後にキャンセルとなったとしている。この融資は2027年8月までの期間で同条件の4回のトランシュで満期構成があるものとなっていた。

「銀行借り入れ枠の再構成によって、流動性と柔軟性のある財務状況となった。」と同社 CFO の Alet Coetzee氏は発表の中で語った。

同社は4月、メタル価格の下落を理由にRoyal Bafokeng Platinum の買収から手を引いて市場を驚かせていた。

<https://www.mining.com/trending/53737-northam-platinum-eases-pressure-on-balance-sheet-with-restructuring/>

貴金属ブローカー MKS PAMP、SMARTTRADEと提携しプラチナとパラジウム取引開始

貴金属の金融取引および現物取引に特化しているMKS PAMP は、smartTrade Technologies と提携して新しく、Web Trading Application (WTA) でロンドン・ロンドンとロコ・チューリッヒのプラチナとパラジウムの取引を開始する。

MKS PAMP は長年 smartTrade と関係を築ってきたが、smartTrade の LiquidityFX を利用してMKS PAMP の WTA で、トレーダーはロコ・ロンドンとロコ・チューリッヒのプラチナとパラジウムの売買ができる。

<https://financefeeds.com/precious-metals-broker-mks-pamp-taps-smarttrades-to-launch-platinum-and-palladium/>

上海、臨港新エリアで白金金属産業の発展を促進

上海の自由貿易区にある経済エリア、臨港新エリアの運営機関は、PGMを中心とした産業を発展させる計画であることを発表した。

臨港経済発展グループを率いる袁国華氏によると、臨港新エリアには、Shanghai Lingang Platinum Group Metals Technology、Platinum Group Metals New International Trade、Innovation Center プロジェクトが設立されている。

新エネルギー産業の発展で、PGMの需要はますます伸びているとされる。プラチナは燃料電池の触媒に使われ、また、ガソリン車やディーゼル車の有害排気ガスを軽減する自動車触媒にも使われている。

中国は世界最大のPGM消費国および輸入国で、世界の約3割を消費している。

太陽光パネルという新たな分野の需要がシルバー需要の25%を占めるようになったと同様に、プラチナの新しい需要分野の伸びは2020年代には全体の25%以上になるだろうと、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルのCEO、トレバー・レイモンド氏は昨日のフォーラムで語った。

<https://www.ycaiglobal.com/news/20230629-03-shanghai-to-develop-platinum-metal-industry-in-lingang>

プラチナとパラジウムを使う電池の商用化試作に向けて期待高まる

プラチナとパラジウムを含むことでより高性能となる新世代バッテリーの商業化に向けて、先進技術の研究機関の参加が発表され、期待が高まっている。

フロリダ国際大学と関連する米Lion Battery Technologies とインドアナ州ニューベリーにある Battery Innovation Center of Newberryの間の協力体制には、来年の商用化に向けたプロトタイプも含まれる。

Lion Battery Technologies は既存のバッテリーのエネルギー量を 20% から100% 上回りながらも寿命は変わらないかより長くもつ新たなバッテリーを目指す。

<https://www.miningweekly.com/article/Hopes-rise-for-platinum-palladium-use-in-batteries-as-commercialisation-trialing-steps-up-2023-06-11>

ナイジェリア富豪所有の会社、プラチナ鉱山開発の遅れでジンバブエ政府問いただす

ジンバブエ政府はナイジェリアの富豪 Benedict Peters氏が所有する Bravura Holdingsと、国内で進められているプラチナ鉱山開発の遅れについて話し合いを持つ。

ジンバブエの鉱山大臣 Polite Kambamira氏は首都ハラレでのインタビューに、「我々は今週後半に彼らと会い、彼らが心配していることを伝える。」と語った。

Bravura 社には2019年にハラレの南から約80キロの Selousにある 3000ヘクタールの土地使用権が与えられている。それは別にPeters氏とナイジェリアのシェル社との間には争議が起こっている。

<https://www.newswire.com/nigerian-tycoons-firm-summoned-by-zim-govt-over-delayed-platinum-mining/>

Translated by Kazuko OSAWA

 WPIC直近の活動

燃料電池自動車 (FCEV) の動力源はプラチナ触媒を使い、燃料の化学反応を電気に転換して得たエネルギーで、そこから排出されるのは水と熱のみ。その燃料が再生可能な資源から作られる水素の場合には排気ガスゼロ、完全に炭素フリーの交通手段と言える。2023年の水素関連のプラチナ需要はまだ比較的小さいが、2020年代とそれ以降に大幅に成長し、WPICは、2040年には年間のプラチナ需要の35%を占めるまでに増えると予測。詳しくは**プラチナ豆知識ープラチナで水素の運出**をご覧ください。

<https://www.shanghaishilinumweek.com/#/home/aboutSPW>



@spicjapan

免責事項: 本資料は情報提供に過ぎず、WPICの投資勧誘を意図するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。